

藤里町林道施設長寿命化計画 (個別施設計画)

計 画 期 間

自 令和 2 年 4 月 1 日

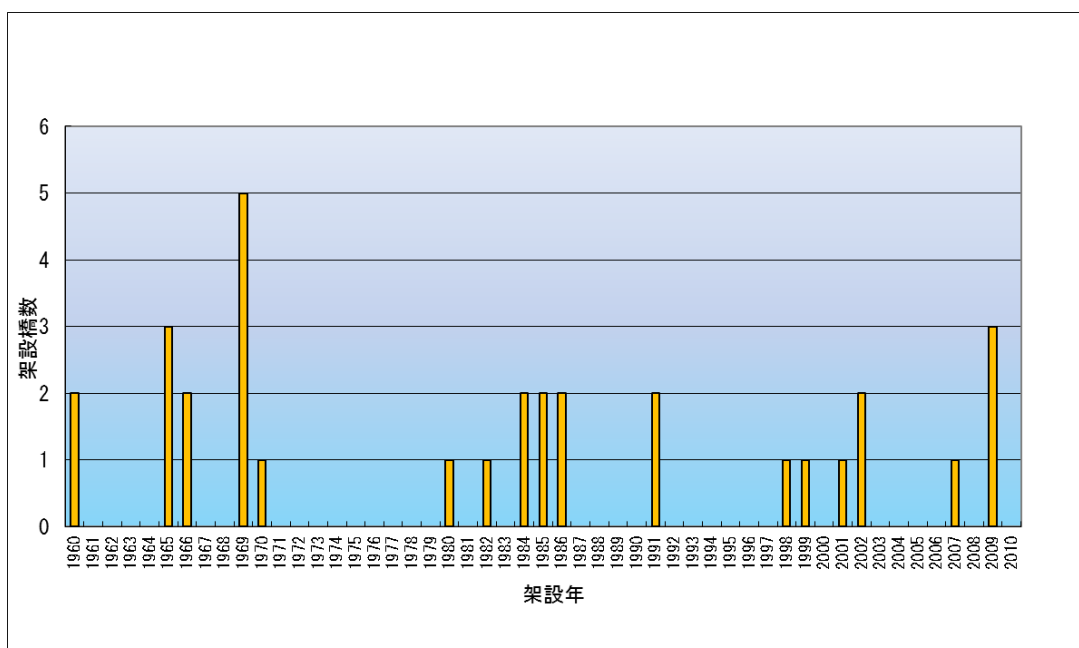
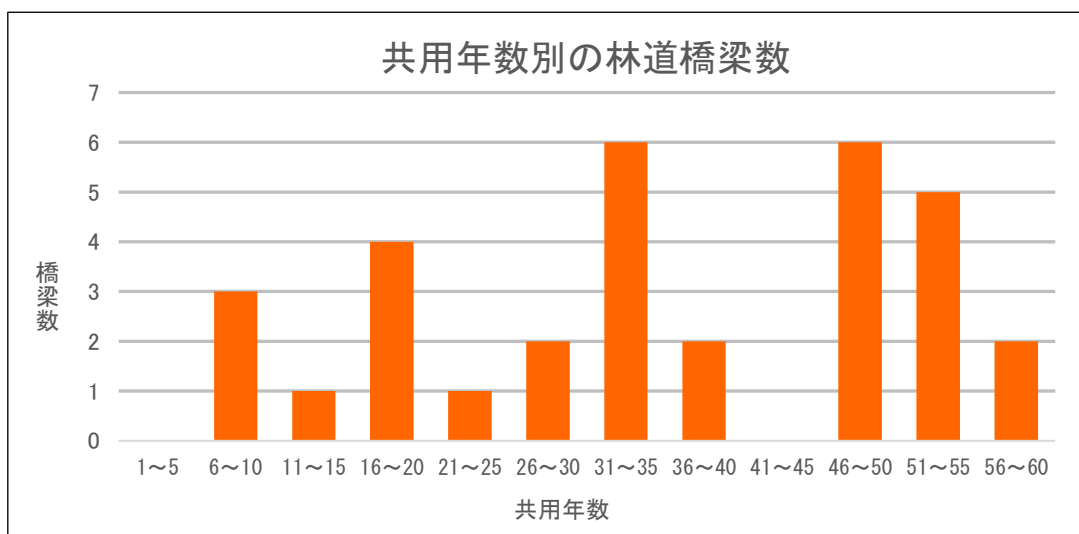
至 令和 1 2 年 3 月 3 1 日

藤里町役場生活環境課
令和 2 年 2 月

1 基本的事項

当町における林道施設は林道橋 3 2 橋、トンネル 2 箇所である。昭和 3 5 年から平成 2 3 年までに建設されており、供用年数別の林道橋梁数は下図のとおりである。

財務省令「原価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和 4 3 年 3 月 3 1 日大蔵省令第 1 5 号）によると橋梁の耐用年数は 6 0 年、トンネルは 7 5 年であり、建設年度が最も古い「前山・滝の沢線 3 号橋、4 号橋」においては供用年数が 5 9 年であることから、耐用年数を経過する林道施設は令和 2 年度から出現することとなる。トンネルに関しては「素波里トンネル」の供用年数が 1 4 年、「鹿瀬内トンネル」が 8 年と比較的新しいものの、現段階から林道施設の現状を個別に把握するとともに、現状を踏まえた施設毎の維持管理・更新等を実施する持続可能なメンテナンスサイクルを構築する事によって、林道施設維持管理費用の縮減及び平準化を図ることが重要である。



本計画は、予防保全型維持管理の考え方を導入し、持続可能なメンテナンスサイクル構築に向けた取組みを進めるために策定するものである。

2 対象施設

本計画の対象とする施設は別紙のとおり。

3 計画期間

本計画における施設毎の計画期間は別紙のとおり。

4 施設の優先度

本計画における施設毎の優先度は別紙のとおり。

5 施設の状況等

全ての林道施設において例年目視による点検を実施している。しかし、林道施設の状態は経年劣化等によって変化する事から、令和元年度に32橋、2トンネルの点検・診断を実施した。また、5年に1度は点検・診断を実施し、定期的に施設毎の状態を把握することとする。

6 対策内容と実施時期

上記「施設の優先度」及び「施設の状況等」を踏まえ、施設毎に講じる対策の内容及び実施の時期について別紙のとおり計画する。

7 対策費用

個別施設毎の対策費用の概算については別紙のとおり。なお、この金額は計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や社会情勢の変化等により、金額に変動が生じる場合がある。

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
1	3	自動車道1級	開放型	2024.7.26

橋梁名	長場内橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町粕毛下長場内	距離票	自		藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町粕毛下長場内		至		

供用開始日		1998年12月		活荷重・等級		B活荷重		適用示方書		平成6年(1994年)	
橋長		105 m		総径間数		3 径間					
上部構造形式		PC T桁橋		下部構造形式		逆T式橋台 壁式橋脚		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率		-		
		交通量	-				荷重制限		-		
幅員			左側				中央部		右側		
	全幅員	8.2 m	地覆	歩道部	道路幅・車線				道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m		0 m		3.5 m	0 m	0.6 m
海岸からの距離		15,800 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川:粕毛川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 横桁: 定着部のひびわれ、剥離、うきの状況に応じての補修が望ましい。 下部工: 漏水や支承下面付近のうきの早期の対策が望ましい。 支承部: 沓座モルタルのうき、欠損の早期の補修が望ましい。 路面、伸縮装置、配水施設: 維持工事にて清掃するのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁の遊離石灰	写真番号75 第2径間 主桁01
	横桁	Ⅱ	横桁に鳥の巣・糞の付着 定着部のひびわれ、剥離、うき、	写真番号31,87,88,148 第1～第3径間 横桁01～03 写真番号30,32,89,85,86,145,149,152 第1～第3径間 横桁01～04
	床版	Ⅱ	床版の遊離石灰	写真番号35,38 第1径間 床版01,03 写真番号92,96 第2径間 床版01,03
下部構造		Ⅱ	堅壁や梁、柱の漏水、ひびわれ 支承下面付近のうき	写真番号54,55 A1橋台、写真番号177 A2橋台 写真番号169～175 P2橋脚 写真番号110～112,115 P1橋脚
支承部		Ⅱ	支承の機能障害 沓座モルタルのうき、欠損	写真番号39,41,45 第1径間 支承 0101,0201,0401 写真番号40 第1径間 支承0102
その他		Ⅱ	地覆の鉄筋露出、剥離、ひびわれ 路肩、伸縮装置、排水施設の土砂詰り	写真番号51,52,65,66,126,127 第1～第3径間 地覆 写真番号5,6,12,13,15～18 第1径間 路面、伸縮装置、排水施設 写真番号59,60,68～71 第2径間 路面、排水施設 写真番号120,121,130～135 第3径間 路面、伸縮装置、排水施設

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R10	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	400千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.4	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
2	3	自動車道1級	開放型	2024.7.30

橋梁名	うわまち橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町粕毛	距離票	自 km	管轄	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町粕毛		至 km		

供用開始日		1999年12月		活荷重・等級		A活荷重		適用示方書		平成6年(1994年)	
橋長		50 m		総径間数		3 径間					
上部構造形式		鋼 ラーメン橋		下部構造形式		逆T式橋台		基礎形式		直接基礎	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	8.2 m	地覆	歩道部	道路幅・車線			道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m		0 m	3.5 m	0 m	0.6 m	
海岸からの距離		16,000 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川:粕毛川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II		(所見等) 下部工:外部からの漏水や遊離石灰を伴うひびわれが生じている為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 支承部:沓座モルタルにうきが生じている為、速やかに補修を行うのが望ましい。 地覆:目地材に劣化がみられる為、速やかに補修を行うのが望ましい。 舗装,伸縮装置,排水施設:維持工事にて、清掃を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅰ			
	横桁	Ⅰ			
	床版	Ⅰ			
下部構造		Ⅱ	胸壁の漏水 堅壁の遊離石灰を伴うひびわれ		写真番号175,177,178 A2橋台
支承部		Ⅱ	沓座モルタルのうき		写真番号40 支承0101
その他		Ⅱ	防護柵の変形,地覆の目地材の劣化 舗装,伸縮装置,排水施設の土砂詰り		写真番号117 防護柵,写真番号8 地覆 写真番号2,3,47,114,115,48舗装 写真番号10,123 伸縮装置 写真番号11,12,56,57,124,125 排水施設

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度			
	内容	補修			
	実施予定時期	R10			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。		
	対策費用 (概算)	300千円			
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.3	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
3	3	自動車道1級	開放型	2024.7.30

橋梁名	坊中橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴上坊中	距離票	自 km	管轄	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴上坊中		至 km		

供用開始日	2001年1月	活荷重・等級	A活荷重	適用示方書	平成8年(1996年)
橋長	55 m	総径間数	2 径間		
上部構造形式	木 トラス橋	下部構造形式	逆T式橋台 壁式橋脚	基礎形式	基礎形式不明
交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-	
	交通量	-	荷重制限	-	
幅員	左側				右側
	全幅員	12.3 m	地覆	歩道部	道路幅・車線
	有効幅員	10.3 m	0.4 m	2 m	3.5 m
海岸からの距離	22,120 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルート	の指定
路下条件	河川:藤琴川			施業計画	有・無

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II		(所見等) 主桁:状況に応じて、板厚減少を伴う錆の補修を行うのが望ましい。 下部工:漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 支承:沓座モルタルのうきがみられるため、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 伸縮装置:劣化やひびわれの補修を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	鋼製部材の板厚減少を伴う錆		写真45 第1径間 下弦材01 写真129 第2径間 下弦材01
	横桁	Ⅰ			
	床版	Ⅰ			
下部構造		Ⅱ	橋台の漏水 橋脚の漏水		写真83,89 A1橋台 写真168,171 P1橋脚 写真183,184 A2橋台
支承部		Ⅱ	支承周辺の土砂堆積 沓座モルタルのうき		写真90 第1径間 支承0101,0202 写真139 第2径間 支承0102
その他		Ⅱ	伸縮装置の劣化,土砂詰り 路面の凹凸		写真37,39,121,123 伸縮装置 写真2,7,94 路面

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度			
	内容	補修			
	実施予定時期	R10			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。		
	対策費用 (概算)	400千円			
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.4	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備 考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
4	3	自動車道1級	開放型	2024.7.23

橋梁名	北熊の岱橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町粕毛	距離票	自 km	管轄	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町粕毛		至 km		

供用開始日		2002年10月		活荷重・等級		A活荷重		適用示方書		平成8年(1996年)	
橋長		10.5 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		PC 床版橋		下部構造形式		逆T式橋台		基礎形式		杭基礎	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	8.2 m	地覆	歩道部	道路幅・車線			道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m		0 m	3.5 m	0 m	0.6 m	
海岸からの距離		16,900 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II		(所見等) 下部工:堅壁に漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 護岸:一部陥没している箇所がある為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅰ			
	横桁	無			
	床版	無			
下部構造		Ⅱ	堅壁の漏水 護岸の陥没		写真番号23～26 A1橋台 写真番号28～32 A2橋台 写真番号33 護岸
支承部		Ⅰ			
その他		Ⅰ			

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度			
	内容	補修			
	実施予定時期	R10			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。		
	対策費用 (概算)	300千円			
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.3	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備 考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
5	3	自動車道1級	開放型	2024.7.23

橋梁名	素波里1号橋		路線名	米代線		管轄	秋田県
所在地	自	秋田県山本郡藤里町粕毛	距離票	自		km	藤里町
	至	秋田県山本郡藤里町粕毛		至			

供用開始日		2002年12月		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		22.5 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		PC 床版橋		下部構造形式		逆T式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率		-		
		交通量	-				荷重制限		-		
幅員			左側				中央部		右側		
	全幅員	8.2 m	地覆	歩道部	道路幅・車線			道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m		0 m	3.5 m	0 m	0.6 m	
海岸からの距離		17,800 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川:嘉左エ門沢						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 下部工: 堅壁に漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 防護柵, 地覆伸縮装置: 状況に応じて補修を行うのが望ましい。 舗装, 排水施設: 土砂を維持工事にて清掃するのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅰ		
	横桁	無		
	床版	Ⅰ		
下部構造		Ⅱ	堅壁の漏水, ひびわれ	写真番号44, 45 A2橋台
支承部		Ⅰ		
その他		Ⅱ	防護柵の木製柵の欠損 地覆の欠損, 伸縮装置の劣化 路肩, 排水施設の土砂詰り	写真番号15 防護柵01、写真番号25, 26 地覆02 写真番号28 伸縮装置02、写真番号4 舗装 写真番号29, 30 排水施設

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	補修		
	実施予定時期	R10		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	300千円		
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。			

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.3	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

備 考	

備 考	

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
8	3	自動車道1級	開放型	2024.7.16

橋梁名	西股沢橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自 km	管轄	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至 km		

供用開始日		2009年12月		活荷重・等級		A活荷重		適用示方書		平成14年(2002年)	
橋長		22.5 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		PC 中空床版橋		下部構造形式		逆T式橋台 ラーメン式橋台		基礎形式		直接基礎	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	8.2 m	地覆	歩道部	道路幅・車線			道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m		0 m	3.5 m	0 m	0.6 m	
海岸からの距離		20,500 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川: 西の股沢						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 主桁:規則的な変色がある為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 下部工:状況に応じてひびわれ補修や止水対策を行うのが望ましい	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁の変色	写真番号11 主桁01
	横桁	無		
	床版	Ⅰ		
下部構造		Ⅱ	胸壁,堅壁の漏水 頂版のひびわれ、側壁の漏水	写真番号23,29 A1橋台 写真番号31,33 A2橋台 写真番号41～44 A2橋台頂版 写真番号48 A2橋台右側壁
支承部		Ⅰ		
その他		Ⅰ		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R10	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	200千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.2	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備 考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
9	3	自動車道1級	開放型	2024.7.19

橋梁名	東股沢橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自 km	至	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至 km		

供用開始日		2009年10月		活荷重・等級		A活荷重		適用示方書		平成14年(2002年)	
橋長		16.5 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		PC 中空床版橋		下部構造形式		逆T式橋台		基礎形式		場所打ち杭基礎	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	8.2 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線		歩道部	地覆		
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m	0 m	3.5 m	0 m	0.6 m		
海岸からの距離		20,800 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川: 東股沢						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II		(所見等) 主桁: 打ち継ぎ目からの漏水の止水対策を行うのが望ましい。 床版, 下部工: 伸縮装置等からの漏水の止水対策を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	打ち継ぎ目からの漏水		写真番号16,17 主桁01,02
	横桁	無			
	床版	Ⅱ	伸縮装置からの漏水		写真番号19
下部構造		Ⅱ	胸壁や堅壁の漏水		写真番号31,37,38 A1橋台 写真番号40,41 A2橋台
支承部		Ⅰ			
その他		Ⅱ	スラブドレーンの変形 導水管の脱落 伸縮装置の変形・欠損		写真番号26 スラブドレーン 写真番号28,29 導水管 写真番号12 伸縮装置

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R10	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	300千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.3	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備 考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
10	4	自動車道2級	開放型	2024.8.27

橋梁名	1号橋	路線名	寺沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴石川原平	距離票	自	至	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴石川原平				

供用開始日		1969年10月		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		7 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC T桁橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.1 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線		歩道部	地覆		
	有効幅員	3.6 m	0.25 m	0 m	1.8 m	0 m	1.8 m	0 m	0.35 m		
海岸からの距離		19,600 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川:寺沢川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 主桁:鉄筋露出がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 床版, 下部構造:状況に応じて止水対策を行うのが望ましい。 支承部:状況に応じて補修を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁の剥離・鉄筋露出	写真番号31 主桁01 写真番号34 主桁02
	横桁	Ⅰ		
	床版	Ⅱ	床版の漏水	写真番号40 床版01 写真番号45 床版03
下部構造		Ⅱ	胸壁・堅壁に漏水	写真番号58 A1橋台 写真番号65 A2橋台
支承部		Ⅱ	支承の劣化	写真番号41～44 支承0101～0202
その他		Ⅱ	防護柵の腐食 伸縮装置,舗装,排水施設の土砂堆積 排水施設の脱落	写真番号9,12 防護柵01,02 写真番号22,24 伸縮装置 写真番号54 排水施設

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	補修		
	実施予定時期	R10		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	300千円		
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。			

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.3	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
11	4	自動車道2級	開放型	2024.8.27

橋梁名	2号橋	路線名	寺沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自 km	管轄	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至 km		

供用開始日	1969年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	12 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明
交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-	
	交通量	-	荷重制限	-	
幅員	左側				右側
	全幅員	4.1 m	地覆	歩道部	道路幅・車線
	有効幅員	3.6 m	0.25 m	0 m	1.8 m
海岸からの距離	19,400 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川: 寺沢川				施業計画
					有・無

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II		(所見等) 主桁,床版,下部工:状況に応じて止水対策等の補修を行うのが望ましい。 防護柵,排水施設:状況に応じて補修を行う必要がある。 伸縮装置,舗装,排水施設:維持工事にて清掃,補修を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁の漏水		写真番号36 主桁01 写真番号41 主桁02
	横桁	Ⅰ			
	床版	Ⅱ	床版の漏水		写真番号49 床版01 写真番号54 床版03
下部構造		Ⅱ	胸壁,縦壁の漏水		写真番号65 A1橋台 写真番号73,75 A2橋台
支承部		Ⅱ	支承の劣化		写真番号55～58 支承0101～支承0202
その他		Ⅱ	防護柵の腐食・ナット脱落,地覆のうき・剥離 伸縮装置の土砂堆積・剥離,舗装の土砂詰り 排水施設の腐食,親柱の傾斜		写真10,14 防護柵,写真16,20 地覆 写真24,26 伸縮装置 写真5 舗装 写真59,60 排水施設 写真22 親柱

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度			
	内容	補修			
	実施予定時期	R10			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。		
	対策費用 (概算)	200千円			
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.2	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
12	4	自動車道2級	開放型	2024.8.27

橋梁名	3号橋	路線名	寺沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自 km	管轄	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至 km		

供用開始日		1969年8月		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		7.4 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC T桁橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.1 m	地覆	歩道部	道路幅・車線			道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	3.6 m	0.25 m	0 m	1.8 m		0 m	1.8 m	0 m	0.25 m	
海岸からの距離		19,300 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川: 寺沢川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 主桁,床版,下部工:状況に応じて止水対策・補修を行うのが望ましい。 横桁:状況に応じて補修を行うのが望ましい。 支承部:状況に応じて補修を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁の鉄筋露出	写真番号37 主桁02
	横桁	Ⅱ	横桁の鉄筋露出 横桁の遊離石灰	写真番号32 横桁01 写真番号33 横桁02
	床版	Ⅱ	床版の漏水	写真番号34 床版01 写真番号38 床版03
下部構造		Ⅱ	胸壁・堅壁の漏水	写真番号50・52 A1橋台 写真番号59・61 A2橋台
支承部		Ⅱ	支承の劣化	写真番号39～42 支承0101～0202
その他		Ⅱ	防護柵の腐食,地覆の剥離 舗装、伸縮装置の土砂堆積, 排水施設の腐食,親柱の崩落	写真6・9 防護柵,写真13 地覆 写真3 舗装,写真19,21 伸縮装置 写真43～46 排水施設, 写真14～16 親柱

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	補修		
	実施予定時期	R10		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	200千円		
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.2	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
13	4	自動車道2級	開放型	2024.8.29

橋梁名	4号橋	路線名	寺沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自 km	至 藤里町	
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至 km		

供用開始日		1965年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		8.5 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC T桁橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.4 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線		歩道部	地覆		
	有効幅員	3.6 m	0.35 m	0 m	1.8 m	0 m	1.8 m	0 m	0.35 m		
海岸からの距離		19,100 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川: 寺沢川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II		(所見等) 主桁,横桁, 床版,下部工:状況に応じて止水対策等の補修を行うのが望ましい。 支承部:状況に応じて補修を行うのが望ましい。 防護柵:状況に応じて補修を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁の錆汁・鉄筋露出		写真番号34 主桁01 写真番号39 主桁02
	横桁	Ⅰ			
	床版	Ⅰ			
下部構造		Ⅱ	胸壁・堅壁の漏水		写真番号61,63 A1橋台 写真番号69,70 A2橋台
支承部		Ⅱ	支承の劣化		写真番号50～53 支承0101～0202
その他		Ⅱ	防護柵の破断, 親柱の崩落, 擁壁の崩落, 伸縮装置の土砂詰り, 路面の凹凸, 排水施設の破断		写真17 防護柵, 写真21,22,23 親柱, 写真60,64 擁壁, 写真24,26 伸縮装置, 写真3 舗装, 写真57 排水施設

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R10	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	200千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.2	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
14	4	自動車道2級	開放型	2024.8.29

橋梁名	5号橋	路線名	寺沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自 km	至	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至 km		

供用開始日		1965年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		9 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC T桁橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.3 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線		歩道部	地覆		
	有効幅員	3.6 m	0.35 m	0 m	1.8 m	0 m	1.8 m	0 m	0.35 m		
海岸からの距離		19,300 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川: 寺沢川						施業計画		有・ 無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 主桁:状況に応じて補修を行う必要がある。 床版,下部工:状況に応じて止水対策等の補修を行うのが望ましい。 防護柵:状況に応じて補修を行う必要がある。 伸縮装置,舗装,排水施設:維持工事にて清掃を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁の剥離・鉄筋露出	写真番号33 主桁01 写真番号37 主桁02
	横桁	Ⅰ		
	床版	Ⅱ	床版の漏水・遊離石灰 床版の剥離	写真番号41 床版01 写真番号43・44 床版02 写真番号45 床版03
下部構造		Ⅱ	胸壁・堅壁に漏水	写真番号57・59 A1橋台 写真番号63・65 A2橋台
支承部		Ⅱ	支承の劣化	写真番号47～50 支承0101～0202
その他		Ⅱ	防護柵の腐食, 地覆の剥離, 伸縮装置・排水施設の土砂堆積, 舗装の凹凸, 親柱の欠損	写真番号8・11 防護柵, 写真番号15・17 地覆, 写真番号23・25 伸縮装置, 写真番号26・27・28・29 排水施設, 写真番号2 舗装, 写真番号18・20 親柱

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R10	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	200千円	
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.2	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
15	4	自動車道2級	開放型	2024.8.27

橋梁名	6号橋	路線名	寺沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自 km	至	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至 km		

供用開始日	1965年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	14 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明
交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-	
	交通量	-	荷重制限	-	
幅員	左側				
	全幅員	4.3 m	地覆	歩道部	道路幅・車線
	有効幅員	3.6 m	0.35 m	0 m	1.8 m
中央部	0 m	1.8 m	0 m	1.8 m	0 m
右側	道路幅・車線	歩道部	地覆		
海岸からの距離	19,800 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川: 寺沢川				
	施業計画	有	無		

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 主桁,床版,下部工:状況に応じて止水対策等の補修を行うのが望ましい。 防護柵:状況に応じて補修を行う必要がある。 伸縮装置,舗装,排水施設:維持工事にて補修,清掃を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁の漏水・鉄筋露出	写真番号35 主桁01 写真番号40 主桁02
	横桁	Ⅰ		
	床版	Ⅱ	床版の漏水・ひびわれ	写真番号47 床版01 写真番号49 床版02 写真番号51 床版03
下部構造		Ⅱ	胸壁・堅壁に漏水	写真番号62・63 A1橋台 写真番号67・69 A2橋台
支承部		Ⅱ	支承の劣化	写真番号52～55 支承0101～0202
その他		Ⅱ	防護柵の腐食, 地覆の剥離, 伸縮装置、排水施設の土砂堆積, 舗装の凹凸, 親柱の崩落	写真番号7・11 防護柵, 写真番号16・18 地覆, 写真番号25・27 伸縮装置, 写真番号28・29・30・31 排水施設, 写真番号2 舗装, 写真番号19 親柱

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R10	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	200千円	
管理方法	管理方法 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.2	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
16	5	自動車道2級	開放型	2024.7.17

橋梁名	3号橋	路線名	前山・滝の沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口	距離票	自	至	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口				

供用開始日		1960年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		4 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC 床版橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	3.9 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線		歩道部	地覆		
	有効幅員	3.6 m	0.15 m	0 m	1.8 m	0 m	1.8 m	0 m	0.15 m		
海岸からの距離		22,900 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 床版:剥離や遊離石灰を状況に応じて補修するのが望ましい。 下部工:剥離やひびわれ、洗堀を状況に応じて補修するのが望ましい。 地覆,舗装:維持工事での補修が望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	無		
	横桁	無		
	床版	Ⅱ	床版の剥離、遊離石灰	写真番号14,15 床版01
下部構造		Ⅱ	堅壁の剥離、ひびわれ	写真番号21～24 A1橋台 写真番号27～28 A2橋台
支承部		Ⅰ		
その他		Ⅱ	地覆の剥離、遊離石灰 舗装の凹凸	写真番号10,19 地覆 写真番号2 舗装

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	補修		
	実施予定時期	R10		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	400千円		
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。			

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.4	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備 考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
17	5	自動車道2級	開放型	2024.7.29

橋梁名	4号橋	路線名	前山・滝の沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口	距離票	自 km		藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口		至 km		

供用開始日		1960年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		6.3 m		総径間数		2 径間					
上部構造形式		RC 床版橋		下部構造形式		重力式橋台 パイルベント橋脚		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	3.9 m	地覆	歩道部	道路幅・車線			道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	3.6 m	0.15 m	0 m	1.8 m		0 m	1.8 m	0 m	0.15 m	
海岸からの距離		23,300 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川:奥滝の沢						施業計画		○・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		III	(所見等) 床版:床版の剥離を状況に応じて補修を行うのが望ましい。 下部工:P1橋脚の柱のひびわれを早期に補修するのが望ましい。 地覆:広範囲の剥離を状況に応じて補修を行うのが望ましい。 舗装:土砂詰りを維持工事にて清掃を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	無		
	横桁	無		
	床版	Ⅱ	床版の剥離	写真番号10 第1径間
下部構造		Ⅲ	柱のひびわれ	写真番号38 P1橋脚
支承部		Ⅰ		
その他		Ⅱ	地覆の剥離 舗装の土砂詰り	写真番号4,6(1径間)21,23(2径間)地覆 写真番号18,19 舗装

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	橋脚のひびわれ補修		
	実施予定時期	R7		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	400千円		
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。			

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4	0.4				0.4
対策の内容・実施時期					点検	補修				点検

備 考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
18	8	自動車道2級	開放型	2024.8.26

橋梁名	水無橋	路線名	横倉線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自 km	至 藤里町	
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至 km		

供用開始日		1969年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		3 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC 床版橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	3.9 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線		歩道部	地覆		
	有効幅員	3.6 m	0.15 m	0 m	1.8 m	0 m	1.8 m	0 m	0.15 m		
海岸からの距離		24,500 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川						施業計画		○・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 下部工:堅壁に漏水・遊離石化がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 支承:一部に劣化がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 舗装,伸縮装置,排水施設:土砂詰りがみられる為、清掃を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	無		
	横桁	無		
	床版	Ⅰ		
下部構造		Ⅱ	堅壁の遊離石灰	写真番号37 A2橋台
支承部		Ⅱ	支承の劣化	写真番号21 支承0101
その他		Ⅱ	伸縮装置の劣化 舗装,伸縮装置,排水施設の土砂詰り 排水施設の欠損	写真番号2 舗装 写真番号7 伸縮装置 写真番号10,11,12,25,26 排水施設

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R10	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	400千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.4	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
19	10	自動車道2級	開放型	2024.8.26

橋梁名	砦橋	路線名	西薄井沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町矢坂	距離票	自 km	管轄	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町矢坂		至 km		

供用開始日	1969年11月	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	7 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明
交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-	
	交通量	-	荷重制限	-	
幅員	左側				
	全幅員	4.1 m	地覆	歩道部	道路幅・車線
	有効幅員	3.6 m	0.25 m	0 m	1.8 m
				中央部	道路幅・車線
				0 m	1.8 m
					歩道部
					0 m
					地覆
					0.25 m
海岸からの距離	19,300 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川: 薄井沢川			施業計画	有・無

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 主桁・横桁: 状況に応じて鉄筋露出の補修を行うのが望ましい。 下部工・床版: 漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 支承: 劣化がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁の鉄筋露出	写真番号28 主桁01
	横桁	Ⅱ	横桁の鉄筋露出	写真番号32 横桁01
	床版	Ⅱ	床版の漏水	写真番号37 床版03
下部構造		Ⅱ	堅壁の漏水	写真番号56 A1橋台 写真番号59 A2橋台
支承部		Ⅱ	支承の劣化	写真番号40～43 支承
その他		Ⅱ	防護柵の腐食, 地覆の剥離 伸縮装置の土砂詰り, 舗装の段差 親柱の欠損, 鉄筋露出	写真4,6 防護柵, 写真12,50 地覆 写真19,21 伸縮装置, 写真2 舗装 写真44～47 排水施設, 写真16 親柱

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	補修		
	実施予定時期	R10		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	400千円		
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.4	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
20	11	自動車道2級	開放型	2024.7.29

橋梁名	西の沢橋	路線名	上茶屋線	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自 km	管轄 藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至 km	

供用開始日		1970年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		6.1 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC 床版橋		下部構造形式		逆T式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率		-		
		交通量	-				荷重制限		-		
幅員			左側				中央部		右側		
	全幅員	3.9 m	地覆	歩道部	道路幅・車線			道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	3.6 m	0.15 m	0 m	1.8 m		0 m	1.8 m	0 m	0.15 m	
海岸からの距離		23,200 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川: 西の沢						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)	II		(所見等) 床版下部工:剥離が多い為、状況に応じて断面修復等を行うのが望ましい。 支承:支承が劣化している為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 地覆,伸縮装置,舗装,排水施設:維持工事にて補修や清掃を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	無		
	横桁	無		
	床版	Ⅱ	床版の漏水,剥離	写真番号17～30 床版01
下部構造		Ⅱ	堅壁の剥離,欠損,漏水	写真番号44 A1橋台 写真番号60 A2橋台
支承部		Ⅱ	支承の劣化	写真番号31 支承0101 写真番号32 支承0102
その他		Ⅱ	地覆の脱落 伸縮装置,排水施設の土砂詰り 路面の凹凸	写真5,7 地覆 写真9,11 伸縮装置 写真13排水施設 写真2 舗装

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	補修		
	実施予定時期	R10		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	500千円		
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.5	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
21	12	自動車道2級	開放型	2024.8.1

橋梁名	深緑橋	路線名	桂岱線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自 km	至 藤里町	
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至 km		

供用開始日		1966年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		6 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC 床版橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	3.3 m	地覆	歩道部	道路幅・車線			道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	3 m	0.15 m	0 m	1.5 m		0 m	1.5 m	0 m	0.15 m	
海岸からの距離		26,200 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川: 早飛沢						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II		(所見等) 下部工:擁壁の基礎が洗堀されている為、早期の対策が望ましい。 地覆:端部が鉄筋露出している為、維持工事において補修を行うのが望ましい。 伸縮装置,舗装:維持工事において、土砂の排除を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	無			
	横桁	無			
	床版	I			
下部構造		II	漏水・帯水 擁壁基礎部分の洗堀		写真番号18 A1橋台擁壁 写真番号22,23 A1橋台擁壁
支承部		I			
その他		II	地覆の鉄筋露出 伸縮装置の土砂詰り 舗装の土砂詰り		写真6 地覆02 写真11,13 伸縮装置 写真2 舗装

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R10	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	400千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.4	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
22	13	自動車道2級	開放型	2024.8.1

橋梁名	蒼林橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自 km	管轄	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至 km		

供用開始日		不明		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		13 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC T桁橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	3.6 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線		歩道部	地覆		
	有効幅員	3 m	0.3 m	0 m	1.5 m	0 m	1.5 m	0 m	0.3 m		
海岸からの距離		7,600 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川: 早飛沢						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II		(所見等)主桁・床版:漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 下部工:漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 防護柵:全て脱落している為、早期の再設置が望ましい。 地覆,伸縮装置,舗装,排水施設:状況に応じて補修を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁の漏水		写真番号33 主桁01 写真番号34 主桁02
	横桁	Ⅰ			
	床版	Ⅱ	床版の漏水,遊離石灰		写真番号39 床版01 写真番号43 床版03
下部構造		Ⅱ	堅壁の漏水		写真番号54 A1橋台 写真番号60 A2橋台
支承部		Ⅰ			
その他		Ⅱ	防護柵の脱落,地覆の鉄筋露出 伸縮装置の欠損・劣化,舗装の段差 排水施設の土砂詰り		写真8,10 防護柵,写真12,17 地覆 写真24,27 伸縮装置 写真2 舗装,写真30 排水施設

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R10	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	500千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.5	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
23	13	自動車道2級	開放型	2024.9.7

橋梁名	1号橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢夏峠沢	距離票	自	管轄	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢夏峠沢		至		

供用開始日		1984年12月		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		11 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		PC 床版橋 RC T桁橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.6 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線		歩道部	地覆		
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m	0.25 m		
海岸からの距離		23,200 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川:大沢川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 主桁:状況に応じて鉄筋露出の補修,止水対策を行うのが望ましい。 床版:ひびわれ、遊離石灰がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 支承:劣化がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	II	主桁の鉄筋露出 主桁の漏水,遊離石灰	写真番号27 主桁01 写真番号28～31 主桁02 写真番号32 主桁03
	横桁	II	横桁の遊離石灰	写真番号33 横桁01
	床版	II	床版のひびわれ,遊離石灰	写真番号36,37 床版01 写真番号40,41 床版03
下部構造		II	胸壁,豎壁の漏水	写真番号59,61 A1橋台 写真番号64,65 A2橋台
支承部		II	支承の劣化	写真番号44～47 支承
その他		II	防護柵の腐食, 地覆の遊離石灰 伸縮装置,舗装,排水施設の土砂詰り 排水施設の腐食	写真9 防護柵,写真56 地覆 写真19,21 伸縮装置, 写真2,4 舗装 写真22,23,25,52 排水施設

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	補修		
	実施予定時期	R10		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	300千円		
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.3	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
24	13	自動車道2級	開放型	2024.9.7

橋梁名	2号橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢夏峠沢	距離票	自	至	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢夏峠沢		至		

供用開始日		1984年12月		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		10.5 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		PC 床版橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.8 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線		歩道部	地覆		
	有効幅員	4 m	0.4 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m	0.4 m		
海岸からの距離		23,300 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川:一の又川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 下部工:外部や伸縮装置からの漏水の止水対策を行うのが望ましい。 防護柵:変形している箇所の部材交換を行うのが望ましい。 伸縮装置:維持工事において清掃を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅰ		
	横桁	無		
	床版	無		
下部構造		Ⅱ	堅壁の漏水	写真番号38 A1橋台
支承部		Ⅰ		
その他		Ⅱ	防護柵の変形 伸縮装置の土砂詰り 舗装の異常	写真13 防護柵 写真19,21 伸縮装置 写真4 舗装

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	補修		
	実施予定時期	R10		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	300千円		
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.3	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
25	13	自動車道2級	開放型	2024.9.7

橋梁名	3号橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口	距離票	自		藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口		至		
			km		km

供用開始日		1985年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		10 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		PC 床版橋 RC T桁橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.6 m	地覆	歩道部	道路幅・車線		中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m		0 m	2 m	0 m	0.35 m	
海岸からの距離		23,400 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川:一の又川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 主桁,横桁,床版:鉄筋露出の補修,止水対策を行うのが望ましい。 下部工:漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 支承:劣化がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	II	主桁の鉄筋露出, 漏水	写真番号31 主桁01 写真番号51 主桁02 写真番号52 主桁03
	横桁	II	横桁の鉄筋露出	写真番号56
	床版	II	床版の鉄筋露出	写真番号61,62 床版03
下部構造		II	胸壁,縦壁の漏水	写真番号79 A1橋台 写真番号81 A2橋台
支承部		II	支承の劣化	写真番号66 支承201
その他		II	防護柵,排水施設の腐食 伸縮装置の土砂詰り 親柱の欠損	写真4 防護柵,写真70,73 排水施設 写真19,21 伸縮装置 写真16,17

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	補修		
	実施予定時期	R10		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	400千円		
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.4	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
26	13	自動車道2級	開放型	2024.7.28

橋梁名	4号橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢名不知	距離票	自	管轄	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢名不知		至		

供用開始日		1985年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		5.4 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		PC 床版橋 RC 床版橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.6 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線		歩道部	地覆		
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m	0.35 m		
海岸からの距離		23,300 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川:大沢川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)	II		(所見等) 主桁:主桁側面にひびわれがみられる。状況に応じて補修を行うのが望ましい。 床版:目地材に劣化,欠損がみられる。状況に応じて補修を行うのが望ましい。 下部工:基礎部分に洗堀がみられる。状況に応じて補修を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁のひびわれ	写真番号19 主桁01
	横桁	無		
	床版	Ⅱ	目地の劣化, 欠損	写真番号20 床版01
下部構造		Ⅱ	堅壁の遊離石灰、 フーチングの露出,擁壁の洗堀	写真番号28 A1橋台 写真番号32,33 A2橋台
支承部		Ⅱ	支承の劣化	写真番号21 支承101 写真番号22 支承102
その他		Ⅱ	伸縮装置の土砂詰り,舗装の段差 排水施設の欠損,土砂詰り 護岸の崩落	写真11,13 伸縮装置, 写真3 舗装 写真16,25 排水施設, 写真29 護岸

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R10	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	300千円	
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.3	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備 考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
27	13	自動車道2級	開放型	2024.7.19

橋梁名	5号橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口	距離票	自		藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口		至		

供用開始日		1986年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		7.5 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC 床版橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.5 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線		歩道部	地覆		
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m	0.25 m		
海岸からの距離		23,400 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川:大沢川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 下部工:伸縮装置からの漏水の止水対策を行うのが望ましい。 支承:状況に応じて、劣化の補修を行うのが望ましい。 伸縮装置,舗装:維持工事において補修や清掃を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	無		
	横桁	無		
	床版	I		
下部構造		II	縦壁の漏水,遊離石灰	写真番号25 A1橋台 写真番号27 A2橋台
支承部		II	支承の劣化	写真番号20 支承101 写真番号21 支承102
その他		II	伸縮装置の土砂詰り 舗装の段差	写真12,14 伸縮装置 写真2 舗装

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R10	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	300千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.3	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
28	13	自動車道2級	開放型	2024.7.19

橋梁名	6号橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口	距離票	自		藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口		至		
			km		km

供用開始日		1986年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		6.5 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC 床版橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.5 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線		歩道部	地覆		
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m	0.25 m		
海岸からの距離		23,900 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川:大沢川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II		(所見等) 下部工:状況に応じて目地からの遊離石灰の補修を行うのが望ましい。 伸縮装置,舗装:維持工事において補修や清掃を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	無			
	横桁	無			
	床版	I			
下部構造		II	縦壁の遊離石灰		写真番号33 A1橋台 写真番号35 A2橋台
支承部		I			
その他		II	伸縮装置の土砂詰り 舗装の段差		写真18,20 伸縮装置 写真2 舗装

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度			
	内容	補修			
	実施予定時期	R10			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。		
	対策費用 (概算)	200千円			
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.2	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
29	14	自動車道2級	開放型	2024.9.7

橋梁名	大砂崩橋	路線名	大砂崩線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自 km	管轄	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至 km		

供用開始日		1982年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		16.4 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		鋼 H桁橋		下部構造形式		逆T式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.8 m	地覆	歩道部	道路幅・車線			道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	4 m	0.4 m	0 m	2 m		0 m	2 m	0 m	0.4 m	
海岸からの距離		24,900 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II		(所見等) 主桁:一部にうろこ状の錆が生じている為、早期に補修を行うのが望ましい。 下部工:伸縮装置からの漏水がみられる為、止水対策が望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁の防食機能の劣化		写真番号22 主桁01
	横桁	Ⅰ			
	床版	Ⅰ			
下部構造		Ⅱ	胸壁や堅壁の漏水		写真番号54 A1橋台 写真番号60,61 A2橋台
支承部		Ⅱ	腐食、沓座モルタルの欠損 ピンチプレートのずれ		写真番号36 文承0101 写真番号40 支承0102 写真番号41,42 支承0201 写真番号46 支承0202
その他		Ⅱ	防護柵の腐食 伸縮装置、排水施設の腐食,土砂詰り 舗装の段差		写真番号7,10 防護柵 写真番号14,16 伸縮装置 写真番号2 舗装 写真番号17～20 排水施設

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	補修		
	実施予定時期	R10		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	300千円		
管理方法	管理方法		5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.3	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
30	15	自動車道2級	開放型	2024.7.17

橋梁名	奥小比内橋		路線名	奥小比内線		管轄	秋田県
所在地	自	秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自		km	藤里町
	至	秋田県山本郡藤里町藤琴		至			

供用開始日		1980年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		18.4 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		鋼 H桁橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件	調査年	不明				大型車 混入率		-			
	交通量	-				荷重制限		-			
幅員			左側				中央部		右側		
	全幅員	4.8 m	地覆	歩道部	道路幅・車線			道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	4 m	0.4 m	0 m	2 m		0 m	2 m	0 m	0.4 m	
海岸からの距離		m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川:西股沢						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II	(所見等) 主桁,横桁,支承,伸縮装置:腐食がみられる為、状況に応じての補修が望ましい。 床版:状況に応じて、一方向のひびわれの補修を行うのが望ましい。 下部工:伸縮装置からの漏水、遊離石灰の止水対策を行うのが望ましい。 支承:沓座モルタルの欠損がみられる為、早期の補修が望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	Ⅱ	主桁の腐食	写真番号24 主桁01 写真番号25 主桁02
	横桁	Ⅱ	横桁の腐食	写真番号27 横桁02
	床版	Ⅱ	床版のひびわれ,遊離石灰	写真番号36,37 床版02 写真番号42 床版03
下部構造		Ⅱ	胸壁,堅壁の漏水, 遊離石灰,鉄筋露出	写真番号53,54 A1橋台 写真番号56,57 A2橋台
支承部		Ⅱ	支承の腐食,沓座モルタルの欠損	写真番号43 支承0101,写真番号44 支承0102 写真番号45 支承0201,写真番号46 支承0202
その他		Ⅱ	伸縮装置の腐食, 路肩,伸縮装置,排水施設の土砂詰り	写真番号18,51 伸縮装置 写真番号2 舗装 写真番号19～22 排水施設

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R10	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	300千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.3	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備 考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
31	18	自動車道2級	開放型	2024.7.30

橋梁名	1号橋	路線名	院内沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢向山下	距離票	自	至	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢向山下				

供用開始日		1991年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		8.5 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC 床版橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.5 m	地覆	歩道部	道路幅・車線		中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m		0 m	2 m	0 m	0.25 m	
海岸からの距離		21,900 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川						施業計画		有・無	

総合検査結果

健全度 (橋単位)		II		(所見等) 支承:劣化がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 伸縮装置,舗装,排水施設:維持工事において補修や清掃を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	無			
	横桁	無			
	床版	I			
下部構造		I			
支承部		II	支承の劣化		写真番号24 支承0101 写真番号25 支承0102
その他		II	伸縮装置の土砂詰り 舗装の段差 排水施設の土砂詰り		写真15,17 伸縮装置 写真2,4 舗装 写真18,20 排水施設

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	補修		
	実施予定時期	R10		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	200千円		
管理方法	管理方法		5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.2	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備 考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
32	18	自動車道2級	開放型	2024.7.26

橋梁名	2号橋	路線名	院内沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢向山下	距離票	自	至	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢向山下				

供用開始日		1991年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明	
橋長		8.5 m		総径間数		1 径間					
上部構造形式		RC 床版橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		基礎形式不明	
交通条件		調査年	不明				大型車 混入率	-			
		交通量	-				荷重制限	-			
幅員			左側				中央部	右側			
	全幅員	4.5 m	地覆	歩道部	道路幅・車線		中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆	
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m		0 m	2 m	0 m	0.25 m	
海岸からの距離		21,800 m		緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		無し	
路下条件		河川						施業計画		有・無	

総合検査結果

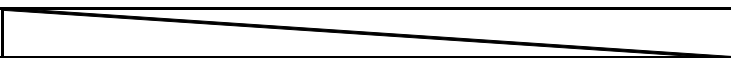
健全度 (橋単位)		II		(所見等) 支承:劣化がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 伸縮装置,舗装:維持工事において補修や清掃を行うのが望ましい。	
部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
上部構造	主桁	無			
	横桁	無			
	床版	I			
下部構造		II	堅壁のひびわれ		写真番号34～36 A2橋台
支承部		II	支承の劣化		写真番号27 支承0102
その他		II	伸縮装置、排水施設の土砂詰り 舗装の段差		写真18,20 伸縮装置 写真21,22 排水施設 写真2,5 舗装

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度		
	内容	補修		
	実施予定時期	R10		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。	
	対策費用 (概算)	200千円		
管理方法	管理方法		5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4				0.2	0.4
対策の内容・実施時期					点検				補修	点検

備考

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号	3	施設管理者	藤里町
路線名	米代線	林道種類及び区分	自動車道1級	トンネル名	鹿瀬内トンネル
施設の所在地	藤里町藤琴	起点からの距離	-	建設年度	H23
供用年数	8	設計または適用設計 技術基準の年度	-	トンネル等級	1級

施設概要	施設の規模	延長	752m	全幅員	8.0m	建築限界高さ	4.5m	内空断面積	41.1㎡	縦断勾配	2.57%
	施設の構造等	トンネル分類	陸上トンネル(掘進工法)		トンネル工法		山岳トンネル工法		通行規制の有無	無	
		壁面種類	覆工(内装なし)		天井板種類		-				
		坑門(起点側)形式・延長	面壁型 0.7m		交通量				排水	歩車道 一体型 円形側溝	
		坑門(終点側)形式・延長	面壁型 0.7m		舗装		コンクリート系				
		道路附属物、占用物件	照明(ナトリウム灯 59灯)								
施設の構造等	林道米代線は、藤里町、能代市、八峰町の3市町を横断する森林基幹林道で、森林整備の機能だけでなく、白神山地へのアクセス道など観光振興の面でも活用されている。また、通行止めとなる冬期間を除けば、米田地区と中通地区を結ぶ生活道としての機能も有しており、町外のみならず、地域住民の活用もみられる。										
施設の状態等の概要	点検診断日	2024.8.6、7									
	調査結果	横断目地部の覆工コンクリートのうき、横断目地部の閉合ひび割れ(打音異常なし)が確認された。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)		トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。							
	劣化原因	施工方法(打ち込み不良、締固め不足、養生不足等)による材質劣化と考えられる。									
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度									
	内容	経過観察、定期点検									
	実施予定時期	R6									
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 観光振興、生活道として一定の交通量があるため、優先度を「中」とした。								
	対策費用(概算)	定期点検 400千円									
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。										

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4					0.4
対策の内容・実施時期					点検					点検

備 考